

Nakabayashi

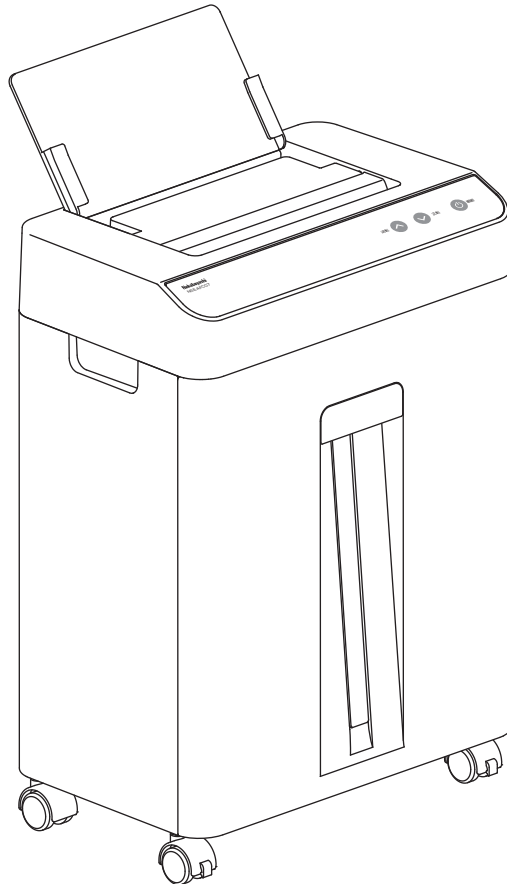
ハイスピードオートフィードシュレッダ

NSE-AFC07

取扱説明書

この度は、ハイスピードオートフィードシュレッダNSE-AFC07をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- この「取扱説明書」は本機の操作方法および使用上の注意事項について記載しています。
- 本機の性能を十分発揮させ、安全で効果的なご使用をしていただくためにも、この「取扱説明書」を最後までお読みください。
- お読みになった後は大切に保管し、必要な時にご利用ください。

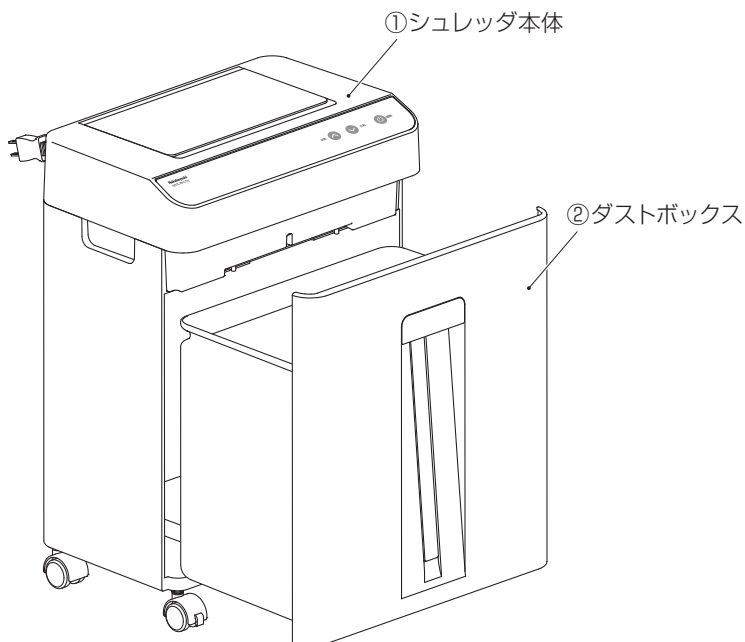


目次

目次	1
梱包内容の確認	2
安全上の注意事項	3~4
各部の名称とはたらき	5
ご使用前の準備	6
ごみ袋を取り付ける場合	7
操作方法/自動細断の場合	8
操作方法/手差し細断の場合	9
細断くずを処分するとき（細断くずの確認）	10
紙がつまったとき	11
モーター過熱保護機能について・お手入れ	12
トラブル時のチェックポイント	13
主な仕様	14
保証規定	裏表紙

梱包内容の確認

シュレッダ本体とダストボックスが揃っていることを確認してください。
不足している物があるときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。



③取扱説明書

※お買い上げのレシートやネット通販の
購入記録と一緒に保管しておくこと
をお勧めします。

安全上の注意事項

安全のため必ずお守りください

この取扱説明書には製品を安全に正しくお使いいただき、事故や損害を未然に防止するために絵表示を使用して注意事項を注記しています。次に絵表示の内容と意味を表記しますので、理解してから本文をお読みになり本機を使用してください。



警告

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示のある項目を無視して取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止事項を示します。禁止行為を行いますと、直接または機械の損傷の結果、ケガを負う危険があります。禁止の内容を  の中に絵文字で示します。



要請事項を示します。要請事項が実施されない場合は、十分な安全を保つことができません。要請の内容を  の中に白抜き絵文字で示します。



注意

●設置上の注意事項



本製品は室内専用です。次のような場所への設置は避けてください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・極端に温度や湿度が高いまたは低い場所
- ・ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所、または足元など不意に接触する可能性がある場所
- ・ほこりや振動の多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所



表示された電源電圧 (AC100V) 以外で使用しないでください。またタコ足配線をしてください。火災、感電のおそれがあります。



機械を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



機械の上に重いものを置かないでください。置いたもののバランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因になることがあります。



機械に乗ったり、腰かけたりしないでください。倒れてケガの原因になります。



警告

●ご使用上の警告事項



子供使用禁止。子供を本機に近づけないでください。



   手、衣類、髪の毛、社員証、ネックレスの巻き込みに注意してください。



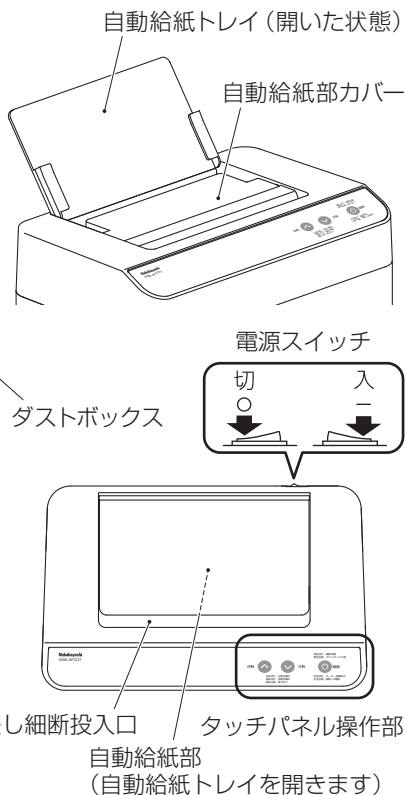
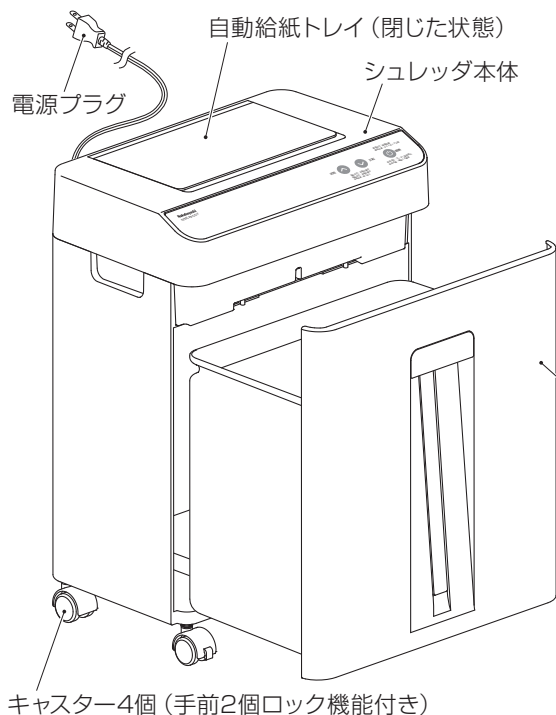
可燃性のスプレー (潤滑剤やオイル、エアダスター等) を使用しないでください。発火や爆発のおそれがあります。

	のぞき込み禁止。投入口から細断くずが飛び出すおそれがあります。
	電池投入禁止。発火や爆発のおそれがあります。
	本機の分解や改造はおやめください。ケガや感電のおそれがあります。
	本機に水などの液体をかけないでください。感電や故障の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
	電源プラグをコンセントに接続している時には、機械の掃除等は行わないでください。機械が誤作動した場合、ケガのおそれがあります。
	細断くずを捨てる時には、安全のため必ず電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
	電源コードに触ると通電したりしなかったりする場合は、すぐに電源スイッチを「切」にし電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または弊社にご相談ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
	発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
	取扱説明書を必ずお読みください。

注意 ●ご使用上の注意事項

	紙専用のシュレッダです。本機は下記の紙を基準に設計しています。 ・自動細断の場合：紙（A4上質紙64g/㎡）※郵便はがきは細断できません。 ・手差し細断の場合：紙（A4上質紙64g/㎡）※郵便はがきは1枚（厚み0.2mm）まで。
	異常や危険を感じた場合は、すぐに電源スイッチを「切」にするか電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグをコンセントから容易に抜き差しできる場所でご使用ください。
	本機の連続使用時間は自動細断約50分、手差し細断約10分です。連続使用時間以上の連続細断はお控えください。また、連続細断でのご使用の際はモーターの温度上昇にともなう安全装置（モーター過熱保護機能）が連続使用時間より早く作動する場合がありますので、休止時間の60分以上休ませてください。
	次のような物は投入しないでください。故障の原因になります。 ・ビニール、ラミネートフィルム、ネガフィルム・布、金属、プラスチック・濡れたり湿ったりしている紙、クリップや安全ピン、ステープラーの10号、11号針以外の針がついている紙・タック紙、粘着シールや粘着テープを貼っている紙（宅配便の送り状、フィルム窓付き封筒など）・新聞紙、感熱紙、段ボール・写真、写真付き年賀状・和紙や半紙・上質紙以外（コートされたものや和紙等）のはがき ※自動細断の場合はクリップやステープラーで綴じた紙を自動給紙トレイにセットしないでください。紙づまりや故障の原因となります。

各部の名称とはたらき



入 切



電源スイッチの説明

- 「入」：一側を押すと電源が入ります。
- 「切」：○側を押すと電源が切れます。

細断ランプ



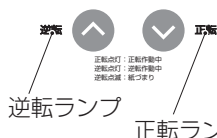
タッチパネル操作部の説明 (マークを指の腹でタッチしてください)

- 「○」：細断マークをタッチすると細断ランプが点灯し細断待機状態になります。
- 「✓」：正転マークをタッチし続けている間は、正転ランプが点灯しカッターが正転します。
- 「△」：逆転マークをタッチし続けている間は、逆転ランプが点灯しカッターが逆転します。

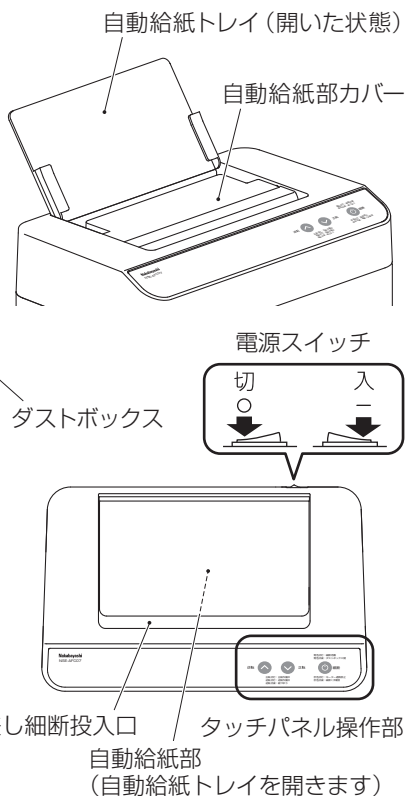
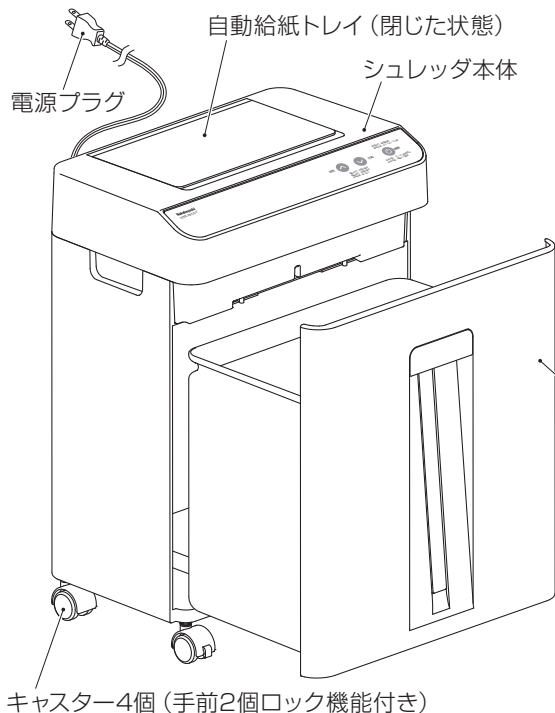
※「逆転」「正転」は紙づまりの場合などで使用します。また、タッチしてから実際に動作するまで少し時差が生じます。

ランプの説明

- 「細断ランプ青色点灯」：細断待機中です。細断はこの状態で行います。
- 「細断ランプ青色点滅」：ダストボックスが開いています。
- 「細断ランプ赤色点灯」：モーター過熱停止中です。
- 「細断ランプ赤色点滅」：細断くずが満杯に近づいている状態です。
- 「正転ランプ青色点灯」：正転中です。
- 「逆転ランプ青色点灯」：逆転中です。
- 「逆転ランプ青色点滅」：紙づまりでオートリバースが作動した状態です。



各部の名称とはたらき



入 切



電源スイッチの説明

- 「入」：一側を押すと電源が入ります。
- 「切」：○側を押すと電源が切れます。

細断ランプ



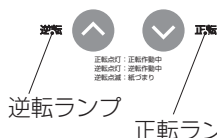
タッチパネル操作部の説明 (マークを指の腹でタッチしてください)

- 「○」：細断マークをタッチすると細断ランプが点灯し細断待機状態になります。
- 「✓」：正転マークをタッチし続けている間は、正転ランプが点灯しカッターが正転します。
- 「▲」：逆転マークをタッチし続けている間は、逆転ランプが点灯しカッターが逆転します。

※「逆転」「正転」は紙づまりの場合などで使用します。また、タッチしてから実際に動作するまで少し時差が生じます。

ランプの説明

- 「細断ランプ青色点灯」：細断待機中です。細断はこの状態で行います。
- 「細断ランプ青色点滅」：ダストボックスが開いています。
- 「細断ランプ赤色点灯」：モーター過熱停止中です。
- 「細断ランプ赤色点滅」：細断くずが満杯に近づいている状態です。
- 「正転ランプ青色点灯」：正転中です。
- 「逆転ランプ青色点灯」：逆転中です。
- 「逆転ランプ青色点滅」：紙づまりでオートリバースが作動した状態です。



ご使用前の準備

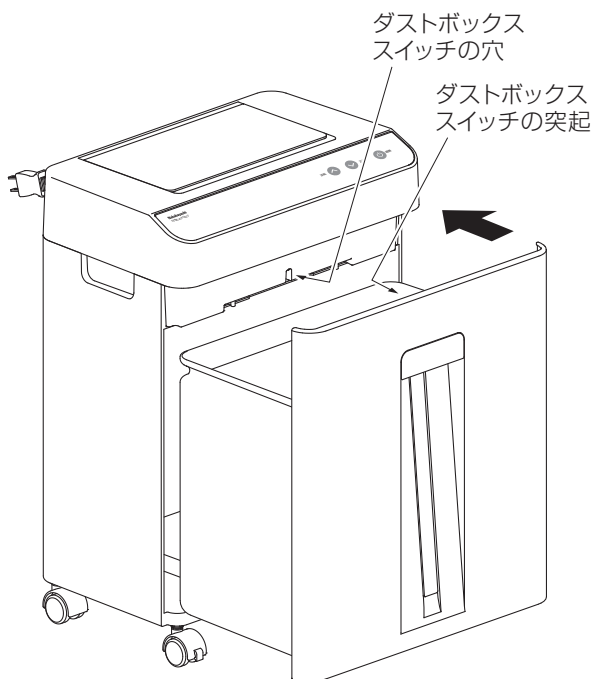
シュレツダ本体にダストボックスをセットしてください。ダストボックスを引き出す際は片手で本体天面を押さえながら行ってください。
設置する場所が決まったら、本体が移動しないようにキャスターをロックしてください。



安全のため本機はシュレツダ本体にダストボックスがきちんとセットされていないと動作しません。(運転中もシュレツダ本体からダストボックスを外すと自動的に止まります)

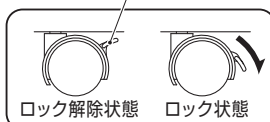


ダストボックススイッチの突起をダストボックススイッチの穴に押し込むように、きちんとセットしてください。



ロックレバー

キャスターはロックレバーを下げるとロックされます。

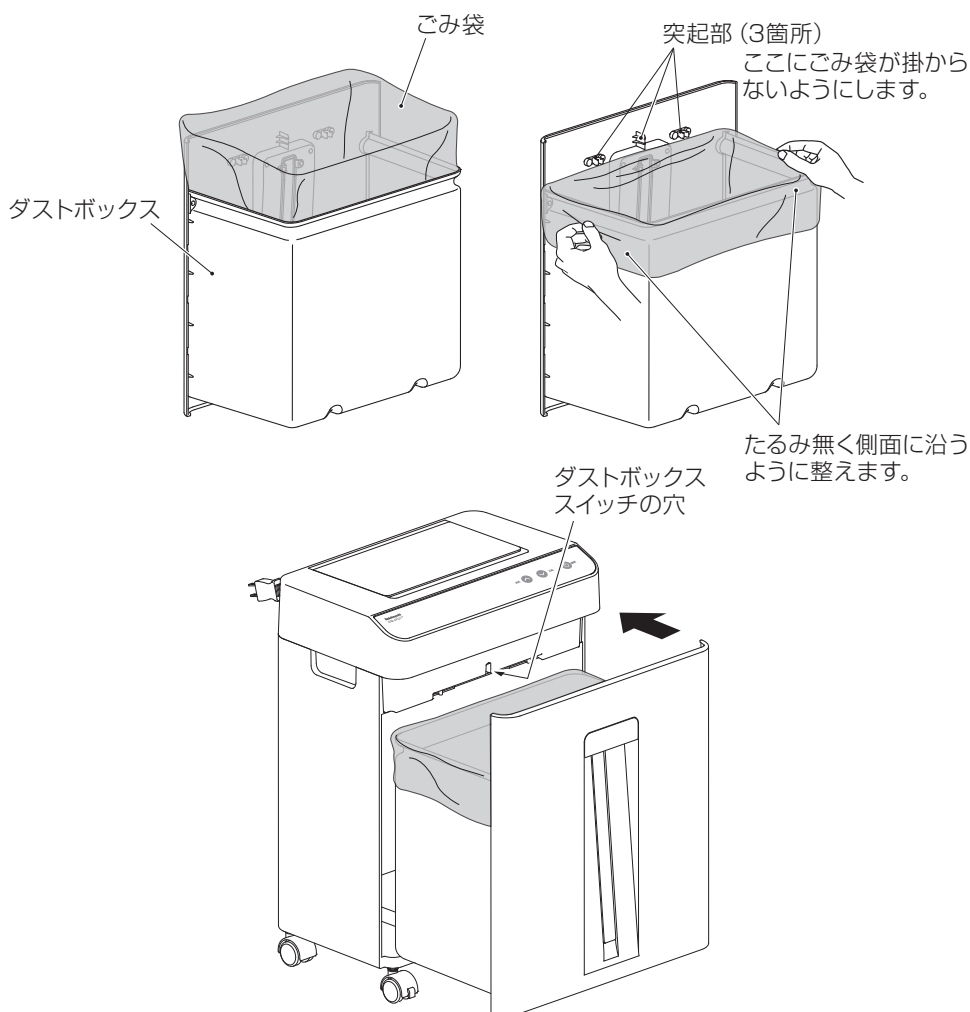


※ロックレバーは手前のキャスター2個のみです。

ごみ袋を取り付ける場合 (ごみ袋を取り付けなくても使用できます)

- ① ダストボックスを本体から引き出してからごみ袋を取り付けます。
!! ごみ袋の内側に空間ができるように取り付けてください。空間がないと細断くす確認ランプが誤作動する場合があります。
- ② ごみ袋の開口部をダストボックスの側面上部で折り返します。折り返した部分はダストボックスの側面に沿うように整えます。その際に下図の突起部にかからないように注意してください。
- ③ ごみ袋が本体のダストボックススイッチの穴を塞がないように注意しながらダストボックスを本体にセットします。

ごみ袋は市販の30ℓ (500×700mm程度)が使用できます。



操作方法/自動細断の場合

- ① 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。
- ② 自動給紙トレイを開き、細断マークをタッチすると細断ランプが青色に点灯し細断可能状態になります。



細断可能状態になった際にカッターが2～3秒間自動的に回転する場合がありますが故障ではありません。
自動給紙トレイは壁際にシュレツダを設置する際でも最後まで完全に開いてください。開き方が不十分だと、誤って領収書などのサイズの小さな紙が混入した場合、機械内部に入り込んで紙づまりや異音など故障の原因となります。

- ③ 紙を整えて自動給紙トレイの左右のガイドに収まるようにセットします。セットすると自動的に細断を開始し細断が終わると自動停止します。



自動細断が可能な紙のサイズは最大A4最小A5です。A4より小さいサイズの紙を細断する場合はトレイの右端（自動細断オートスタートセンサーが作動するよう）にセットしてください。センサーが反応しないと細断を開始しません。※A5サイズ未満の紙ではオートスタートセンサーが反応しない場合があります。※サイズの違う用紙を混ぜた状態でトレイにセットしないでください。

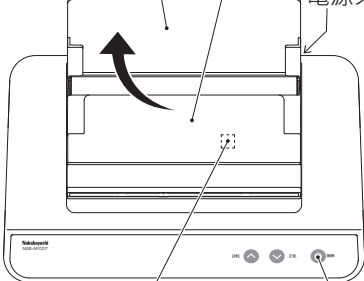
- ④ 細断終了後は細断マークをタッチし細断ランプを消灯させてから電源スイッチを「切」にし、自動給紙トレイを閉じます。



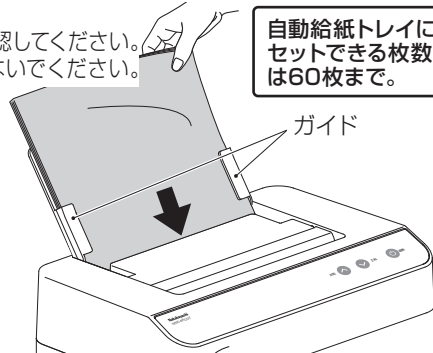
セットした紙が全て細断されるのを必ず確認してください。
自動細断を開始した状態で本機を放置しないでください。

自動給紙トレイに
セットできる枚数は
60枚まで。

自動給紙トレイ 自動給紙カバー
電源スイッチ



自動細断オートスタート
センサー（自動給紙カバー
の下にあります） 細断マーク
細断ランプ



ガイド



トレイの右端に
合わせてセット
します。

A4より小さいサイズの
紙を細断する場合。
最小サイズはA5まで。



クリップや安全ピン、ステープラーの針
がついている紙は自動細断しないでくだ
さい。紙づまりや故障の原因になります。



自動給紙トレイにセットできる最大枚数は60枚（A4上質紙64g/m²）です。
※A5より小さいサイズの紙および郵便はがき等の厚紙は自動細断できません。



A4より小さいサイズの紙は自動細断オートスタートセンサーが作動するように自動給紙
トレイの右端にまっすぐセットしてください。オートスタートセンサーが作動しないと細
断が開始されません。また、斜めにセットすると細断不良や紙づまりの原因になります。



連続使用時間は50分以内でお使いください。詳細は12ページ【モーター過熱保護機能
について】を参照してください。



細断中はダストボックスをシュレツダ本体から引き出さないでください。

操作方法/手差し細断の場合

- ① 電源スイッチが「切」になっていることを確認してから電源プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを「入」にします。
- ② 細断マークをタッチすると細断ランプが青色に点灯し細断可能状態になります。
!! 細断可能状態になった際にカッターが2～3秒間自動的に回転する場合がありますが故障ではありません。
- ③ 紙を手差し細断投入口の中央にまっすぐ投入してください。自動的に細断を開始し細断が終わると自動停止します。
!! 紙は投入口の中央にあるオートスタートセンサーが作動するように投入してください。センサーが反応しないと細断を開始しません。
- ④ 細断終了後は細断マークをタッチし細断ランプを消灯させてから電源スイッチを「切」にします。

自動給紙トレイ（手差し細断はトレイを閉じた状態でも使用できます）

電源スイッチ

手差し細断オートスタートセンサー（投入口の内部にあります）

手差し細断投入口

細断マーク
細断ランプ

最大細断枚数：6枚
定格細断枚数：4枚

自動細断中に手差し細断できるのは上質紙（64g/㎡）1枚のみです。※それ以外は細断出来ません。

!	一度に細断できる 最大枚数は6枚（A4上質紙64g/㎡） です。適量に分けて細断してください。※郵便はがき（厚み0.2mmまで）は1枚です。
!	紙は必ず手差し細断オートスタートセンサーが作動するように投入口の中央にまっすぐ投入してください。オートスタートセンサーが作動しないと細断が開始されません。また、端に寄ったり斜めに投入すると細断不良や紙づまりの原因になります。
!	連続で細断する場合は必ず定格細断枚数の4枚以下 で使用してください。連続で細断する場合は前の細断が終わり自動停止してから次の紙を投入してください。また、投入口の中に細断くずが残っている場合は、正転ボタンをタッチし続け、全て細断してから次の紙を投入してください。
!	連続使用時間は 10分以内 でお使いください。詳細は12ページ【モーター過熱保護機能について】を参照してください。
!	細断中はダストボックスをシュレッド本体から引き出さないでください。

細断くずを処分するとき(細断くずの確認)

ダストボックス内の細断くずが満杯に近くなると細断ランプが赤色で点滅します。ランプが点滅したらダストボックス内の細断くずを処分してください。

細断くずが満杯になるとダストボックスが引き出せなくなったり、細断くずがカッターに巻き込まれて故障する場合があります。



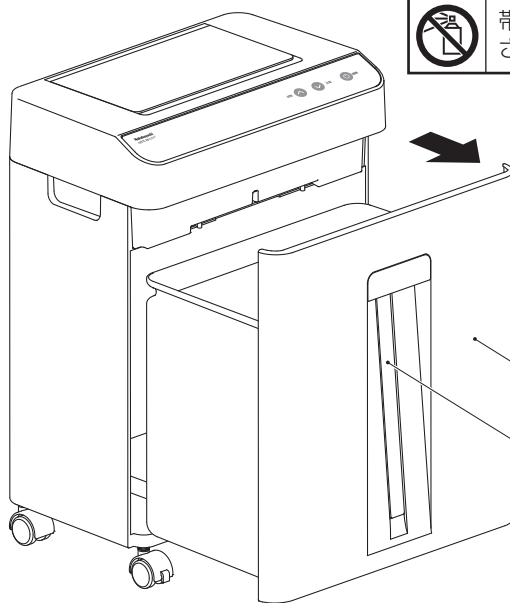
細断くずが満杯の状態では逆転しないでください。細断くずがカッターに巻き込まれる場合があります。



ダストボックスはゆっくり引き出してください。勢いよく引き出すと風圧により細断くずが飛散する場合があります。また、冬期など湿度が低く空気が乾燥しているときは、静電気の影響により更に飛散しやすくなりますのでご注意ください。(静電気は、ご使用前に帯電防止剤を配合したウェットティッシュなどでダストボックスの内側を拭くと軽減することがあります)



帯電防止剤のスプレーは使用しないでください。発火や爆発のおそれがあります。



細断くずの処分はお早めに

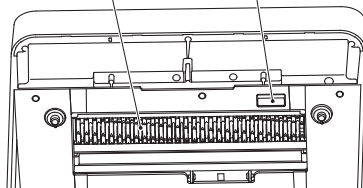
巻き込みなどの原因となりますので、細断くずは満杯になる前に捨ててください。細断くずはお住まいの自治体のゴミ分別方法に従ってください。
※巻き込み防止のため細断くずセンサーは早めに反応する仕様になっています。

ダストボックス

透明窓

細断くずセンサー

排出口



(ダストボックスを引き出し、排出口を下から見た状態)



細断くずが溜まっていない状態で細断ランプが赤色点滅(細断くずが満杯に近づいている状態)する場合は、細断くずセンサーが誤作動しています。センサーに細断くずや紙粉等が付着している可能性がありますので、柔らかい布で乾拭きしてください。



細断くずを処分するときや細断センサーを確認するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



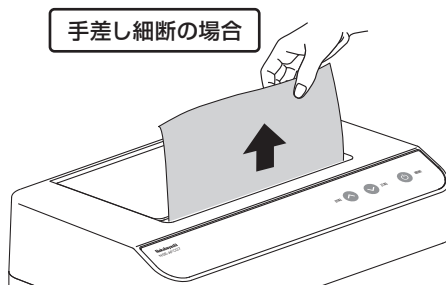
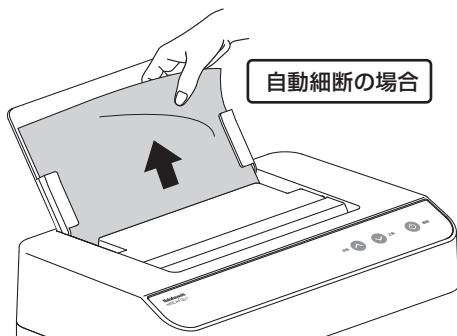
シュレッド本体裏側の排出口にはカッターがありますので、絶対に手や指を入れないでください。

紙がつまったとき

投入した紙が多すぎたり斜めに投入すると紙がつまった状態になり、逆転ランプが青色で点滅しオートリバース機能が作動します。オートリバース機能が作動すると自動的に逆転に切り替わりますので、投入口の細断物を取り除いてください。オートリバース機能が作動しない場合は、逆転マークをタッチし続け逆転させながら取り除いてください。



軽く引っ張っても取り除けない場合は、無理に引っ張らず逆転と正転操作を繰り返して細断を行い、紙を最後まで細断してください。無理に引っ張るとモーターの故障やギアの破損の原因になります。



紙を取り除いても逆転ランプが青色で点滅している、または細断できない場合は、自動給紙部に紙が残っていることがあります。その場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて自動給紙部カバーを開き、紙が残っていないか、スタートセンサーに細断くずや紙粉等が付着していないかを確認してください。



自動給紙部カバーを閉めた後は電源マークをタッチして細断ランプが青色点灯（細断待機状態）になっていることを確認してください。



	「逆転」にしても取り除けない場合は電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。
	「逆転」または「正転」での連続使用は行わないでください。モーターの故障の原因になります。
	シュレッド本体の投入口や排出口には絶対に手や指を入れないでください。内部にカッターがあり大変危険です。
	可燃性のスプレー（潤滑油やオイル、エアダスター）を使用しないでください。発火や爆発の恐れがあります。

モーター過熱保護機能について

本機の細断機構のモーターは連続使用時間（自動細断約50分、手差し細断約10分）以上細断すると、モーター過熱保護機能により自動停止します。この場合は細断マークをタッチし細断ランプを消灯させ電源スイッチを「切」にして、60分以上休ませてからご使用ください。使用条件により連続使用時間が経過しても自動停止しない場合がありますが、その際も連続使用時間が経過したら60分以上休ませてください。

また、紙づまり状態で過熱停止した場合は、無理に紙を取り除かずそのままの状態電源プラグをコンセントから抜き、60分以上休ませたあと、逆転操作で紙を取り除いてください。

補足説明

モーター過熱保護機能は使用環境によって作動する時間が前後します。実際には時間（タイマー）ではなくモーターの温度を検知しているためです。モーター停止温度までの使用目安時間として分かりやすくするため自動細断約50分、手差し細断約10分と記載しています。

お手入れ

- シュレッド内部のカッターに細断くすが巻き込まれ、一時的に細断能力が低下している場合は、逆転と正転操作を交互に繰り返して細断くすを取り除いてから使用してください。
- シュレッド本体およびダストボックスは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れがひどい場合には、うすめた中性洗剤を含ませた布で軽く拭いて汚れを落とし、その後洗剤が残らないように水拭きおよび乾拭きをしてください。
- 投入口や排出口に付着した細断くすは、お手持ちの掃除機等で清掃してください。



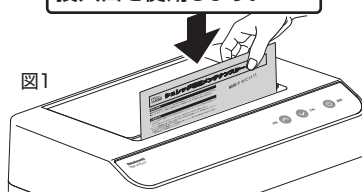
ベンジン、シンナー等の溶剤やクレンザー、アルコール等は使用しないでください。変色や変形の原因になります。

- 細断能力が低下し、頻繁に細断くすがつまるとな場合は、弊社のシュレッド専用メンテナンスシート（NSE-MSA5）を図1のように細断するか、ボトル入りの専用オイル（ISO-030）で図2のようにオイルシートを準備し、そのまま細断してお手入れしてください。
- シートの細断終了後、逆転と正転をそれぞれ約20秒間作動させ、カッターにオイルを行き渡らせてください。



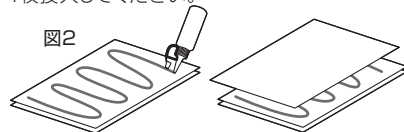
可燃性のスプレー（潤滑剤やオイル、エアダスター等）を使用しないでください。発火や爆発のおそれがあります。

メンテナンスは手差し細断投入口を使用します。



シートに表記されている矢印の向きに従って、1枚投入してください。

図2



①コピー用紙を1～2枚重ね、②オイルを塗った紙の上に、1番上にオイルを塗って もう1枚紙を重ねてください。

シュレッド専用メンテナンスシートおよび専用オイルの入手が困難な場合は、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。



誤作動による事故防止の為、お手入れの際には必ず電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



投入口や排出口には絶対に手や指を入れないでください。内部にカッターがあり大変危険です。



可燃性のスプレー（潤滑剤やオイル、エアダスター等）を使用しないでください。発火や爆発のおそれがあります。

トラブル時のチェックポイント

トラブルが発生した場合、以下のチェックを行ってください。

シュレッダが動かない、細断途中で止まった、細断しない

原因 (チェックポイント)	処 置
●電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか。	●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
●電源スイッチが「入」、細断ランプが「青色で点灯」していますか。	●電源スイッチを「入」、細断マークをタッチして細断ランプを青色に点灯させてください。
●ダストボックスはシュレッダ本体に正しくセットされていますか。	●ダストボックスをシュレッダ本体に正しくセットしてください。
●自動給紙部または手差し細断投入口に紙がつまっていますか。	●11ページ【紙がつまったとき】を参照。
●自動給紙部または手差し細断投入口に紙が残っていませんか。	●自動給紙部または手差し細断投入口に細断物が残っていると作動しないことがあります。残っている場合は取り除いてください。
●自動給紙トレイまたは手差し細断投入口に紙を多く入れすぎていませんか。	●自動細断の場合は自動給紙トレイにセットできる枚数は60枚(A4上質紙64g/㎡)までです。 ※自動細断は郵便はがき等の厚紙には対応していません。 手差し細断の場合は6枚(A4上質紙64g/㎡)までです。 ※郵便はがきは1枚(厚み0.2mm)まで。
●連続使用時間以上細断したり、紙がつまったまま放置していませんか。 連続使用時間：自動細断 約50分、手差し細断 約10分。	●電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜き、60分以上休ませてからご使用ください。
●自動給紙部または手差し細断投入口のオートスタートセンサーが作動していますか。	●オートスタートセンサーが作動する位置に紙をセットまたは投入してください。
●ダストボックスが満杯になっていませんか。	●10ページ【細断くずを処分するとき(細断くずの確認)】を参照。
●自動給紙部カバーが浮いた状態になっていませんか？	●自動給紙部カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉じて下さい。

シュレッダの細断機構が停止しない

原因 (チェックポイント)	処 置
●自動給紙トレイに紙が残っている、または自動給紙部に紙がつまっているためにオートスタートセンサーが誤作動していませんか。	●紙や細断くずを取り除いてください。
●手差し細断投入口の中に紙や細断くずがたまる、または引っかかっているためにオートスタートセンサーが誤作動していませんか。	●別の投入物を用意し、つまっている紙や細断くずを押し込んで細断してください。



上記のチェックを行っても、なお不具合がある場合は、電源スイッチを「切」にして電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げの販売店または弊社にご相談ください。

主な仕様

品 名	ハイスピードオートフィードシュレッタ
品 番	NSE-AFC07
本体寸法	W350×D220×H450mm
本体重量	約8kg
細断形状・細断寸法	ミニクロスカット 約4×12mm
投入幅	225mm ※自動細断できるサイズは最大A4、最小A5まで
定格電圧・周波数	AC100V・50/60Hz
定格消費電力	120W (50/60Hz)
最大自動細断枚数	60枚 (A4上質紙64g/m ²) ※自動給紙トレイにセットできる枚数
最大手差し細断枚数	6枚 (A4上質紙64g/m ²) ※郵便はがき (厚さ0.2mm) は1枚まで
定格手差し細断枚数	4枚 (A4上質紙64g/m ²)
定格細断速度	自動細断 約5.2m/分、手差し細断 約4.4m/分 (50/60Hz)
定格時間 (連続使用時間)	自動細断 約50分、手差し細断 約10分 (休止時間 約60分)
ダストボックス容量	約17リットル (A4上質紙64g/m ² 約208枚/4枚手差し細断時) ※ダストボックス内で細断くずを均等にならした場合は理論値です。 ※自動細断の場合はA4上質紙64g/m ² を60枚細断するとほぼ満杯になります。
電源コード長さ	約1.2m

※改良のため、予告なく仕様・外観を変更することがあります。
 ※仕様の数値は、使用条件などにより変化する場合があります。



最大細断枚数は本機の最大許容負荷値です。これを超えると故障しますので最大細断枚数を超える紙は投入しないでください。また、連続で細断する場合は必ず定格時間以下で使用してください。

保証規定

この製品は厳密な検査に合格したものです。保証期間内にお客様の正常なご使用状況のもとで万一故障した場合には、本保証規定に従い、無償にて修理または同等品との交換対応をさせていただきます。製品とレシート等の購入証明書を添えて、お買い上げの販売店までご持参ください。

なお、製品の修理・交換にかかる交通費、送料、梱包料等の諸費用は、お客様のご負担となります。また、故障の内容や製品の状態、ご使用状況によっては、修理に代えて同等品との交換対応とさせていただきます場合や、対応をお受けできない場合がございます。

ただし、お客様にて製品を分解された場合は、理由の如何を問わず保証対象外(有償対応)となりますので、あらかじめご了承ください。

その他、次に該当する場合も保証対象外(有償対応)となります。

1. 購入証明書に購入日や販売店が明記されていない場合
2. 購入証明書と故障した本製品を弊社にご提示いただけない場合
3. 購入証明書に偽造や改変などがある場合
4. リサイクルショップやフリーマーケットなどの中古品やオークションなど第三者から購入または譲渡された場合
5. 修理や改造などが行われていた場合
6. 取り扱い上の誤りにより故障、損傷が生じた場合
7. お買い上げ後の移動、落下または輸送などにより故障、損傷が生じた場合
8. 火災、天災、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合
9. 接続している他の機器の不良、その他外部要因により故障、損傷が生じた場合

※保証は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only within Japan.

保証期間 お買い上げ日より **1年**

レシートなどの購入日を証明する書類を
本書とあわせて大切に保管してください。

商品に関するお問い合わせはこちら▶
<https://www.nakabayashi.co.jp/support/>

ナカバヤシ株式会社

